

## 2.4 第27回研究会

### 2.4.1 研究会開催概要

#### 1) その1

##### 【議事次第】

日時：2005年1月19日 14:00～17:30

場所：神戸国際会議場 メインホール

内容：国連防災世界会議 海岸シンポジウム

「Tsunami～きたるべきその一瞬に備えて」(主催：全国海岸事業推進  
連合協議会)への参加

【参加者数】 31名

##### 【開催概要】

上記、国連防災世界会議 海岸シンポジウムに参加し、拝聴した。



国連防災世界会議 (一般参加事業)  
**つなみ**  
**Tsunami**  
と  
きたるべきその一瞬に備えて

津波災害の軽減化に向けて

我が国沿岸では、海洋性地震等に伴う大津波が繰り返し発生していますが、そう遠くない将来、東海、南海海溝・南海トラフなどによる大津波が広い範囲に津襲し、同時多発的に各地に大きな犠牲をもたらすことが危惧されています。このため、津波被害軽減化の取り組みを各地の自治体や地域住民らが協力しあって進めているところですが、まだまだ十分とはいえない状況も多く見受けられます。そこで津波被害軽減化に向けた地域の取り組みが一層推進されるよう過去の教訓も踏まえ、わかりやすくビジュアルな内容で、見落とされがちな問題も含めて一緒に考えてみたいと思います。

併せて、阪神・淡路大震災から10周年の神戸市における国連防災世界会議の参加事業として、我が国と海外との津波防災協力がより一層深まる契機となることを期待して開催するものです。

日時 平成17年1月19日(水) 14:00～17:30  
場所 神戸国際会議場メインホール (JR三宮駅からポートライナーで10分)  
主催 全国海岸事業促進連合協議会 (会長：堀川清司東大名誉教授)  
共催 (社)土木学会  
後援 国土交通省、農林水産省

- #### 基調講演
- エディー バーナード  
米国海洋大気局太平洋海気象研究所長  
米国における津波の予測と防災プログラム
  - 河田憲昭 山形大学地質学研究所長  
我が国の津波防災への挑戦

- #### パネルディスカッション
- (コーディネーター)  
○今村文彦 東北大学大学院工学部材料科学系高次材料研究センター教授
- (パネリスト)  
○藤原 雅 国土省 防災部長  
津波対策を考えた国土計画、国土の守護と復興への道
- 永井 章 国土交通省の山形県津波防災対策推進課長  
津波対策、沿岸部の防災とその防災化への取り組み
- 酒井 浩一 国土交通省防災課長  
高知県の津波対策「サイン/リコ/サイン」
- 山本博晴 国土交通省河川防災課長  
河川防災と津波対策の連携を促すための地域防災の取り組み
- 藤川秀太郎 国土交通省河川防災課長  
被災地域に向けた「防災推進の促進」を科したる取り組み

どなたでも自由に  
参加できます。  
入場は無料です。

#### 会場案内

- ・よこたえびの会館(ポートライナー)
- ・JR三宮駅(徒歩10分)
- ・JR三宮駅から地下鉄(三宮駅南口)まで徒歩10分
- ・三宮駅南口から徒歩10分(三宮駅南口)
- ・三宮駅南口から徒歩10分(三宮駅南口)
- ・三宮駅南口から徒歩10分(三宮駅南口)



#### 国連防災世界会議

国連防災世界会議は、国連防災世界会議の開催地として、2005年1月18日(水)～19日(木)の2日間、神戸国際会議場(三宮駅南口)で開催されます。会場は三宮駅南口から徒歩10分です。会場は三宮駅南口から徒歩10分です。会場は三宮駅南口から徒歩10分です。

お問い合わせ - 参加申し込み先  
連絡先: 国土交通省 国土政策課 国土政策課 国土政策課  
TEL: 03-3571-4000 FAX: 03-3571-4000

## 2)その2

### 【議事次第】

- 日時 : 2005年1月21日 10:00～17:00  
場所 : 神戸国際展示場 2号館3階 3A会議室  
内容 : 第9回震災対策技術展・比較防災学ワークショップ  
文部科学省 大都市大震災軽減化特別プロジェクト - 3  
「巨大地震・津波による太平洋沿岸巨大連担都市圏の総合的対応シミュレーションとその活用手法の開発」(紀伊半島南島沖地震緊急報告会「9月5日の地震が教えてくれたこと」)への参加

【参加者数】 35名

### 【開催概要】

文部科学省 大都市大震災軽減化特別プロジェクト - 3における紀伊半島南島沖地震緊急報告会が、次頁に示すプログラムにそって行われ、それに参加し、拝聴した。

巨大地震・津波による太平洋沿岸巨大連担都市圏の総合的対応シミュレーションと  
その活用手法の開発  
(中核機関: 京都大学防災研究所)

【特集】 紀伊半島南東沖地震 9月5日の地震が教えてくれたこと

日時: 2005年1月21日(金) 10:00~17:00

場所: 神戸国際展示場2号館 3階 3A会議室

(第9回震災対策技術展・比較防災学ワークショップ会場)

〒650-0046 神戸市中央区港島6-11-1 TEL: 078-303-7516

プログラム:

- 10:00~10:30 挨拶・趣旨説明(大大特 - 3研究代表者: 河田恵昭)
- 10:30~11:30 人々の行動や意識は変わったのか 岡田憲夫  
(京都大学防災研究所・教授)
- 11:30~12:30 行政はどう動いたのか 林 春男  
(京都大学防災研究所・教授)
- 13:30~14:30 長大構造物は大丈夫か 澤田純男  
(京都大学防災研究所・助教授)
- 14:30~15:30 津波情報はどう受けとられたのか 河田恵昭  
(京都大学防災研究所・教授)
- 15:30~16:30 ライフラインは大丈夫か 佐藤忠信  
(京都大学防災研究所・教授)
- 16:30~17:00 総括(大大特 - 3研究代表者: 河田恵昭)

主催/共催:

京都大学防災研究所(大都市大震災軽減化特別プロジェクト - 3課題中核機関)  
第9回震災対策技術展、比較防災学ワークショップ  
京都大学防災研究所巨大災害研究センター、  
東京大学生産技術研究所・都市基盤安全工学国際研究センター  
京都大学防災研究所21世紀COEプログラム